

海外植林事業

地域と共存しながら
再生可能な資源である木を育てています

Tree Farm 構想

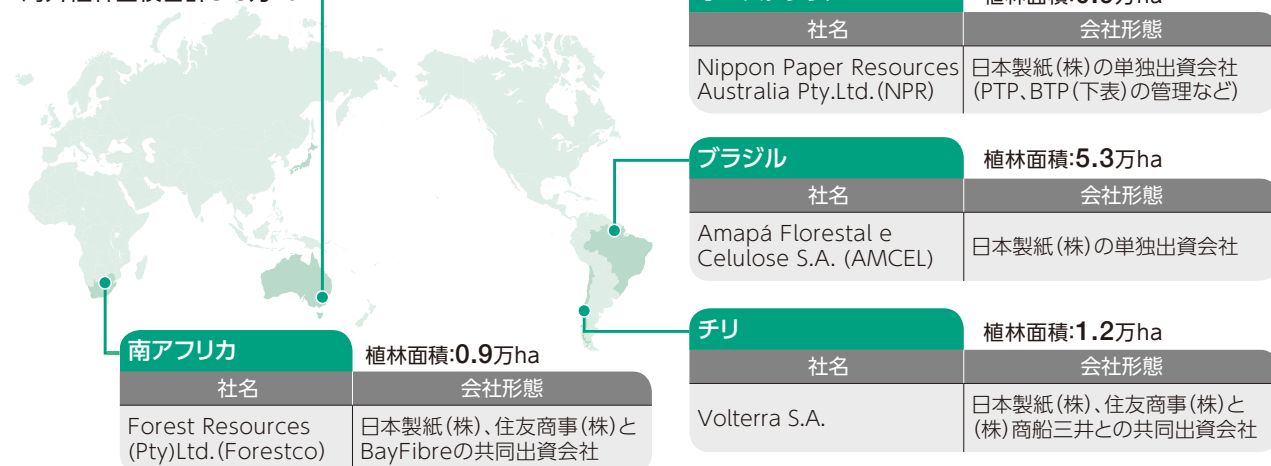
「Tree Farm構想」とは、畑で作物を育てて収穫するのと同様に、木を自ら育てて収穫・活用し、それを繰り返すことで持続可能な原材料調達を行う、日本製紙(株)の海外植林プロジェクトの考え方です。

→ Tree Farm構想 <https://www.nipponpapergroup.com/csr/forest/afforest/>

現在、ブラジル・チリ・オーストラリア・南アフリカにおいて、計約8.3万ヘクタール(2019年末時点)の植林地を管理しています。

管理している海外植林の概要 (2019 年末時点)

海外植林面積合計8.3万ha



海外植林地の持続可能な森林経営

日本製紙グループは、植林地周辺の地域社会と良好な関係を築き、ともに発展していくことが重要であると考えています。森林経営にあたっては、「原材料調達に関する理念と基本方針」(→P.29)に基づき、地域住民、地域の文化・伝統と自然環境・生態系に配慮し、雇用の創出や教育活動への援助などを通じて地域経済にも貢献しています。また、日本製紙(株)の管理する全ての海外植林事業では、森林認証を取得、維持しています。

森林認証取得状況

海外植林事業での森林認証取得状況

事業会社別海外植林プロジェクト	認証制度名(ライセンス番号)	取得年
PTP(オーストラリア)	Responsible Wood	2006年
BTP(オーストラリア)	Responsible Wood	2006年
Volterra(チリ)	FSC®(FSC®C120260) CERTFORCHILE	2014年 2007年
Forestco(南アフリカ)	FSC®(FSC®C012171)	2003年
AMCEL(ブラジル)	FSC®(FSC®C023383) CERFLOR	2008年 2014年

→ 森林認証とは <https://www.nipponpapergroup.com/csr/forest/sustainability/certification/>

地域生態系に配慮した植林事業

日本製紙グループは、草地、農場・牧場の跡地や植林木の伐採跡地を植林地として利用しています。また生長の早いユーカリを中心に、各地の気候と製紙原料に適した樹種を選んで植栽しています。ユーカリの一斉植林と域内の生物多様性の維持を両立するために、生態系への影響が大きい河川沿いの原生植生を水辺林として残すなど、適切な処置をしています。



水辺林を残した植林。(右図)青色部が水辺林

生物多様性に配慮した森林管理

各地の植林事業会社において、生物多様性に配慮した植林事業を行っており、保有する社有地に生物多様性保護のための保護区を設定し、動植物生息調査を行うなどの取り組みを行っています。(→P.53-54)

地域との共生

植林事業を行うにあたっては、周辺地域社会との共生が重要であり、地域社会への配慮、対話を重視しています。

例えば、ブラジルやチリの植林事業会社では、所有する植林地周辺のコミュニティなどステークホルダーへの訪問や会議を定期的に行い、事業活動に対する意見・要望を確認しています。また、これらのコミュニケーションを通じて得られた要望をもとに、展開している社会貢献活動プログラムなどの評価・見直しを行うための手順を定めています。

地域との共生のための活動事例

	地域社会への貢献	先住民族への配慮
ブラジル	<ul style="list-style-type: none"> ● 植林地周辺コミュニティ住民を対象にした職業訓練 (→P.85) ● 低所得層の子供たちを対象にしたスポーツ教室への協賛 (→P.86) ● 地域に暮らす女性を対象とした職業訓練への支援(メイク、アクセサリー作り) ● 軍警察が行う、主に低所得層の子供たちを対象とした教育、スポーツ活動への協賛 ● 野生生物の保護、環境教育活動への資金援助 ● 水難事故防止キャンペーンで配布するライフジャケットの寄付 	<ul style="list-style-type: none"> ● 所有地内で確認された、先住民族の遺跡があるエリアは恒久的な保護区域に指定(→P.84)
チリ	<ul style="list-style-type: none"> ● 農家への苗木贈与プログラムへの参加 ● 地域交流の一環として、地元の小学生へクリスマスプレゼントを配布 ● 近隣コミュニティの健康維持促進活動プロジェクトにスポーツマットを寄付 	<ul style="list-style-type: none"> ● 植林地に隣接する先住民地区にタンクとパイプを寄付 (→P.84) ● 植林地に隣接する先住民地区の道路舗装化・拡張プロジェクトに参加し、フェンス材の提供、設置を実施 ● 所有地に存在する、先住民族が薬用として利用する希少なハーブ自生地域を保護し、先住民族の利用のために開放
オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域の植林関連会社で構成される消防団の一員として、地域の森林火災時の消火活動に協力 	<ul style="list-style-type: none"> ● 植林地で確認された先住民族の遺跡の保護(→P.84)